

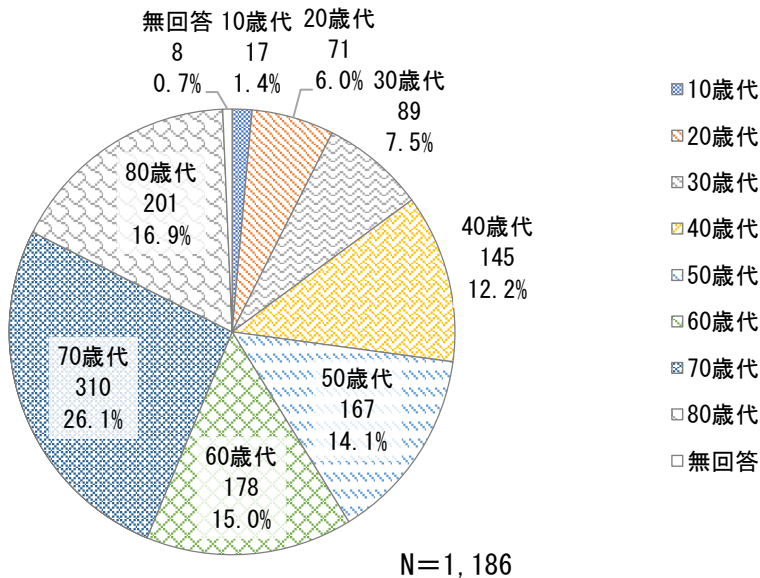
アンケート調査集計表

熊野町の今後のまちづくりに関するアンケート調査 調査結果（速報）

調査対象	熊野町に住む 18 歳以上の住民（令和 4 年 10 月 1 日現在，住民基本台帳登録者）
対象数	2,500 人（住民基本基本台帳より無作為抽出） 外国人含む
調査時期	令和 4 年 11 月 11 日（金）～令和 4 年 11 月 25 日（金）[15 日間]
調査方法	郵送配布・郵送改修（WEB 回答も可）
有効回収数 （有効回収率）	1,179 票※（47.1%） ※WEB による回答者 56 名を含む
備考	令和 4 年 10 月の住民基本台帳人口：23,445 人（全住民の約 5%）

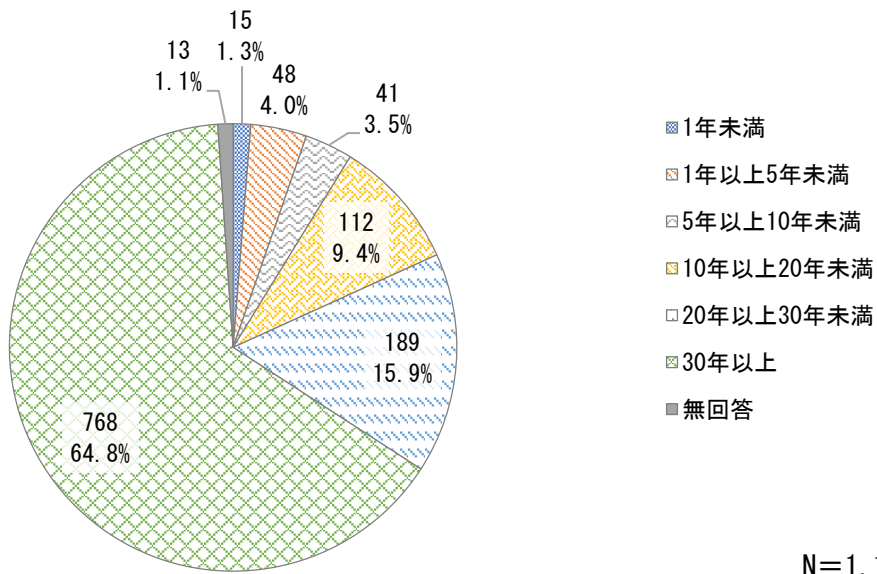
1 あなた自身のことについておたずねします。

【問 1】 あなたの年齢をお聞かせください。（1つに○）



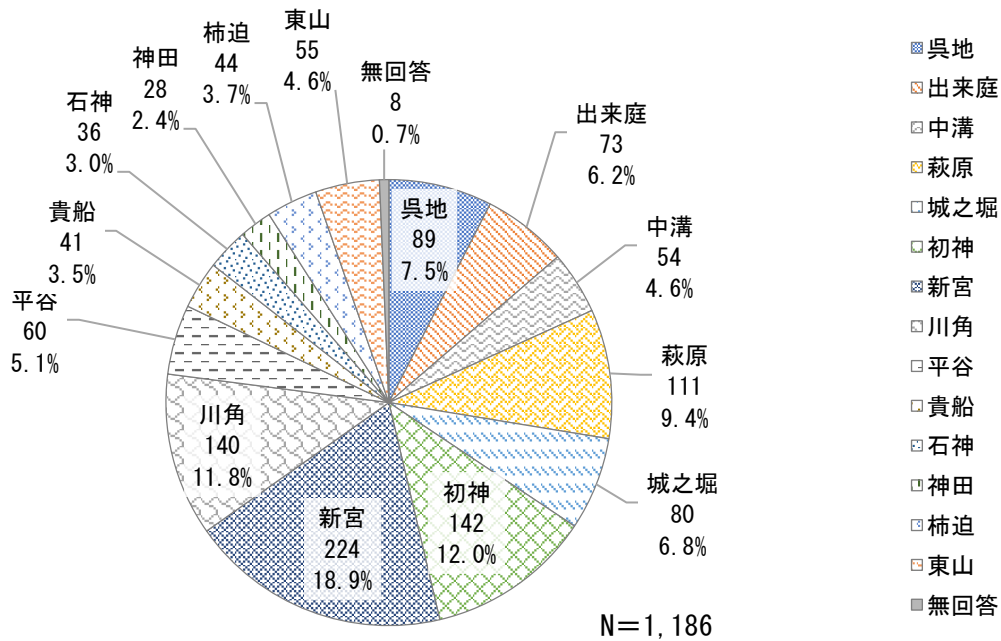
選択肢（年齢）	回答	割合
10 歳代	17	1.4%
20 歳代	71	6.0%
30 歳代	89	7.5%
40 歳代	145	12.2%
50 歳代	167	14.1%
60 歳代	178	15.0%
70 歳代	310	26.1%
80 歳代以上	201	16.9%
無回答	8	0.7%

【問 2】 熊野町に住んでいる期間をお聞かせください。（1つに○）



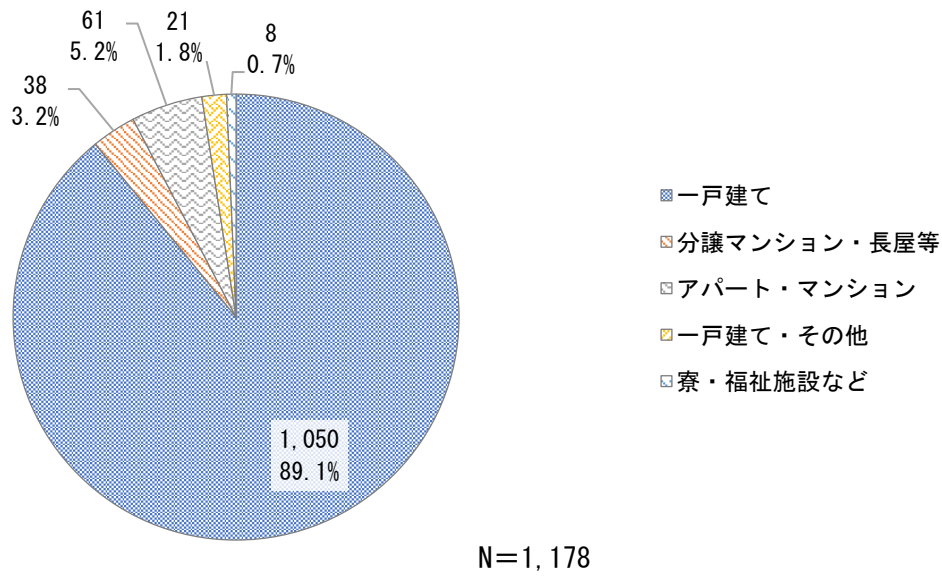
選択肢（居住年数）	回答	割合
1年未満	15	1.3%
1年以上5年未満	48	4.0%
5年以上10年未満	41	3.5%
10年以上20年未満	112	9.4%
20年以上30年未満	189	15.9%
30年以上	768	64.8%
無回答	13	1.1%

【問3】あなたのお住まいの地区はどこですか。（1つに○）



選択肢（居住する地区）	回答	割合		
呉地	89	7.5%	18.3%	中央地域計
出来庭	73	6.2%		
中溝	54	4.6%		
萩原	111	9.4%	16.1%	}
城之堀	80	6.7%		
初神	142	12.0%	30.8%	東部地域
新宮	224	18.8%		
川角	140	11.8%	34.1%	西部地域
平谷	60	5.1%		
貴船	41	3.5%		
石神	36	3.0%		
神田	28	2.4%		
柿迫	44	3.7%		
東山	55	4.6%	34.1%	うち 熊野団地 17.2%
無回答	8	0.7%		

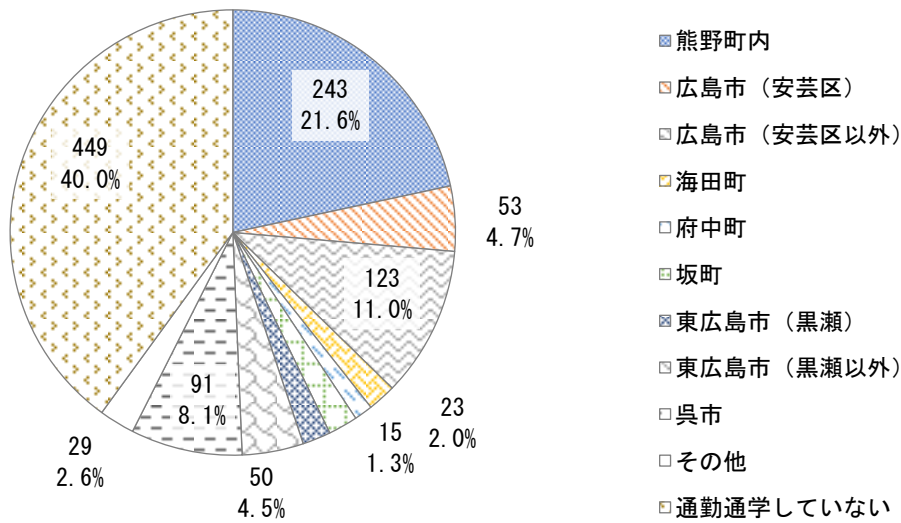
【問 4】あなたのお住まい（住宅の種類）をお聞かせください。（1つに○）



区分	回答	割合	選択肢（種類）	回答	割合
持家	1,088	92.3%	一戸建て	1,050	89.1%
			分譲マンション・長屋等	38	3.2%
賃貸・借家	82	7.0%	アパート・マンション	61	5.2%
			一戸建て・その他	21	1.8%
その他	8	0.7%	寮・福祉施設など	8	0.7%

※無回答を除く

【問5】 あなたの働いている場所（通勤先）や 通学先 をお聞かせください。（1つに○）



N=1,123

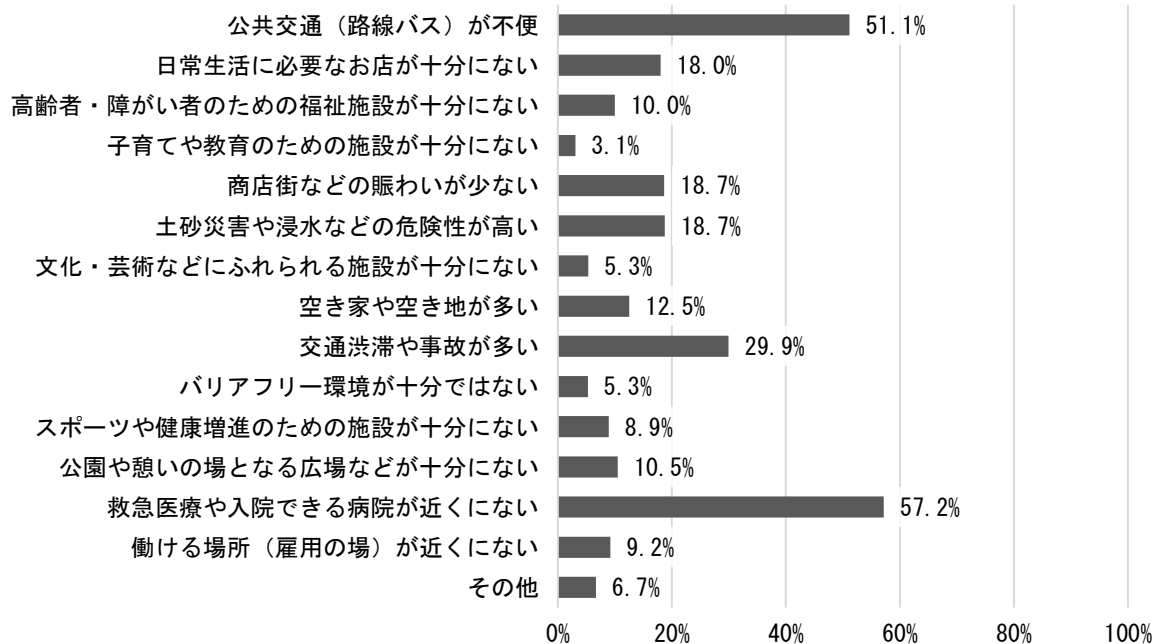
選択肢（通勤・通学先）	回答	割合	割合	
熊野町内	243	21.6%	36.1%	36.1%
広島市（安芸区）	53	4.7%	63.9%	7.9%
広島市（安芸区以外）	123	11.0%		18.2%
海田町	23	2.0%		3.4%
府中町	15	1.3%		2.2%
坂町	24	2.1%		3.6%
東広島市（黒瀬）	23	2.0%		3.4%
東広島市（黒瀬以外）	50	4.5%		7.4%
呉市	91	8.1%		13.5%
その他	29	2.6%		4.3%
通勤通学していない	449	40.0%		-

※無回答を除く

【その他】（記入者の主な記入例）

- ・廿日市市，府中市，福山市，三原市，現場による，関西（単身赴任）

【問 6】あなたのお住まいの地区で不便・不安に感じることをお聞かせください。（○は3つまで）



N=1,142

選択肢（居住地での不便・不安）	回答	割合
公共交通（路線バス）が不便	584	51.1%
日常生活に必要なお店が十分でない	206	18.0%
高齢者・障がい者のための福祉施設が十分でない	114	10.0%
子育てや教育のための施設が十分でない	35	3.1%
商店街などの賑わいが少ない	213	18.7%
土砂災害や浸水などの危険性が高い	214	18.7%
文化・芸術などにふれられる施設が十分でない	61	5.3%
空き家や空き地が多い	143	12.5%
交通渋滞や事故が多い	342	29.9%
バリアフリー環境が十分ではない	60	5.3%
スポーツや健康増進のための施設が十分でない	102	8.9%
公園や憩いの場となる広場などが十分でない	120	10.5%
救急医療や入院できる病院が近くにない	653	57.2%
働ける場所（雇用の場）が近くにない	105	9.2%
その他	76	6.7%

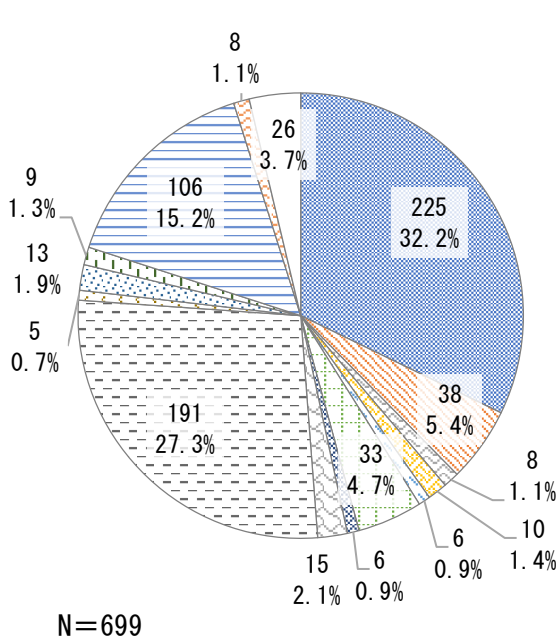
※無回答を除く（複数回答：3つまで選択）

【その他】（記入者の主な記入例）

- ・街灯がない，暗い（夜道が怖い），飲食店・食事ができる場所がない
- ・獣害（イノシシ，アライグマ），道路側溝・水路に蓋がない，給食がない，水道代が高い など

【問 7】 上記（問 6）の内容で最も不便・不安に感じることを具体的にお聞かせください。（自由記述）

回答例：1.朝・夕ピーク時の路線バスの乗客が多くて、座席に座れない。



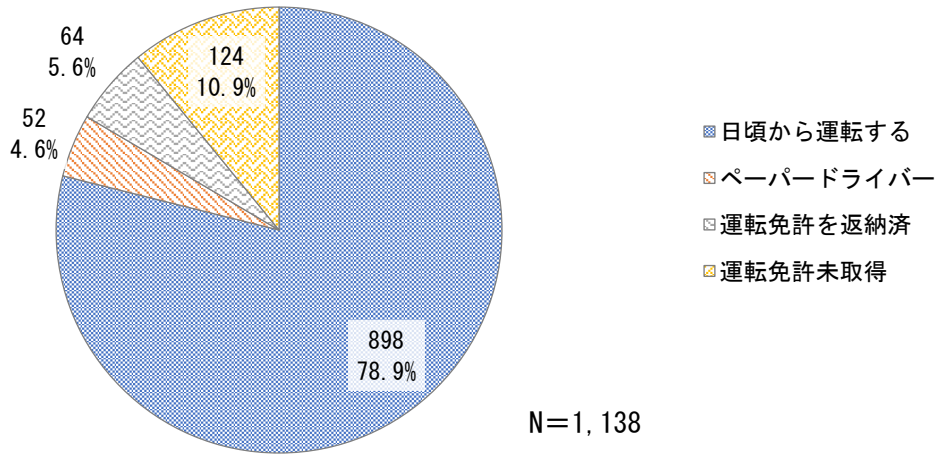
- 公共交通（路線バス）が不便
- 日常生活に必要なお店が十分でない
- 高齢者・障がい者のための福祉施設が十分でない
- 子育てや教育のための施設が十分でない
- 商店街などの賑わいが少ない
- 土砂災害や浸水などの危険性が高い
- 文化・芸術などにふれられる施設が十分でない
- 空き家や空き地が多い
- 交通渋滞や事故が多い
- バリアフリー環境が十分ではない
- スポーツや健康増進のための施設が十分でない
- 公園や憩いの場となる広場などが十分でない
- 救急医療や入院できる病院が近くにない
- 働ける場所（雇用の場）が近くにない
- その他

選択肢（最も不便・不安に感じること）	回答	割合
公共交通（路線バス）が不便	225	32.2%
日常生活に必要なお店が十分でない	38	5.4%
高齢者・障がい者のための福祉施設が十分でない	8	1.1%
子育てや教育のための施設が十分でない	10	1.4%
商店街などの賑わいが少ない	6	0.9%
土砂災害や浸水などの危険性が高い	33	4.7%
文化・芸術などにふれられる施設が十分でない	6	0.9%
空き家や空き地が多い	15	2.1%
交通渋滞や事故が多い	191	27.3%
バリアフリー環境が十分ではない	5	0.7%
スポーツや健康増進のための施設が十分でない	13	1.9%
公園や憩いの場となる広場などが十分でない	9	1.3%
救急医療や入院できる病院が近くにない	106	15.2%
働ける場所（雇用の場）が近くにない	8	1.1%
その他	26	3.7%

※無回答を除く

具体的な記述内容については、
アンケート調査自由記述一件

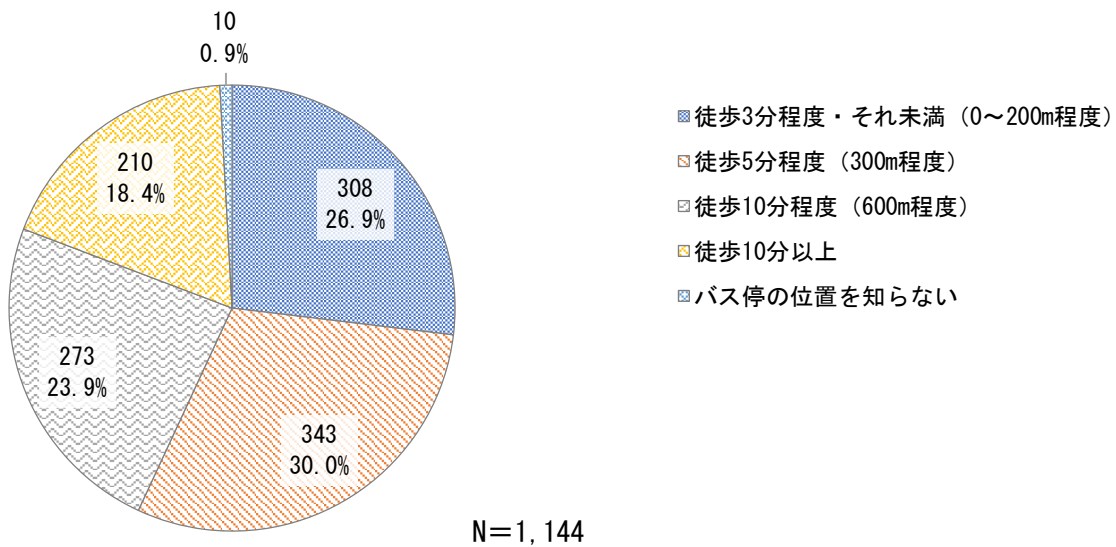
【問 8】 自動車の運転に関してお聞かせください。(1つに○)



選択肢（免許の保有：自動車の運転）		回答	割合		
運転免許保有	日頃から運転する	898	78.9%	83.5%	78.9%
	ペーパードライバー	52	4.6%		
運転免許保有なし	運転免許を返納済	64	5.6%	16.5%	21.1%
	運転免許未取得	124	10.9%		

※無回答を除く

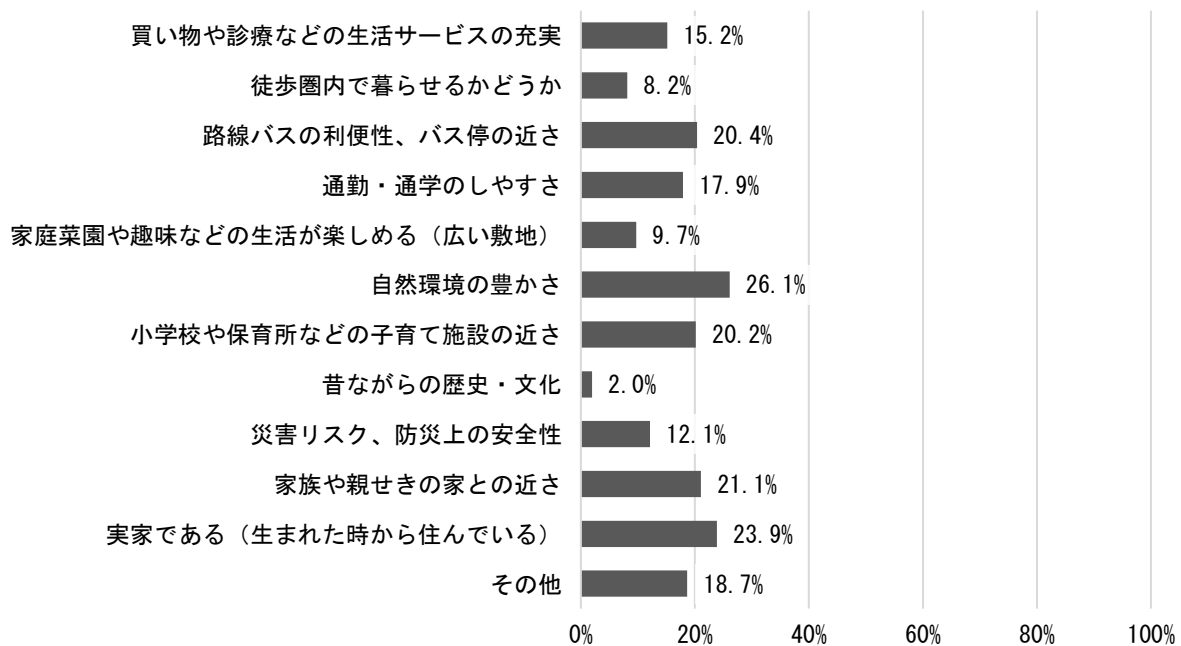
【問 9】あなたのお住まいから最寄りのバス停（路線バス）までの距離をお聞かせください。（1つに○）



選択肢（バス停までの距離）	回答	割合
徒歩3分程度・それ未満（0～200m程度）	308	26.9%
徒歩5分程度（300m程度）	343	30.0%
徒歩10分程度（600m程度）	273	23.9%
徒歩10分以上	210	18.4%
バス停の位置を知らない	10	0.9%

※無回答を除く

【問 10】 現在のお住まいの地区を決めるときに重視したことをお聞かせください。（○は3つまで）



N=1,115

選択肢（居住地洗濯で重視したこと）	回答	割合
買い物や診療などの生活サービスの充実	169	15.2%
徒歩圏内で暮らせるかどうか	91	8.2%
路線バスの利便性、バス停の近さ	227	20.4%
通勤・通学のしやすさ	200	17.9%
家庭菜園や趣味などの生活が楽しめる（広い敷地）	108	9.7%
自然環境の豊かさ	291	26.1%
小学校や保育所などの子育て施設の近さ	225	20.2%
昔ながらの歴史・文化	22	2.0%
災害リスク、防災上の安全性	135	12.1%
家族や親せきの家との近さ	235	21.1%
実家である（生まれた時から住んでいる）	266	23.9%
その他	208	18.7%

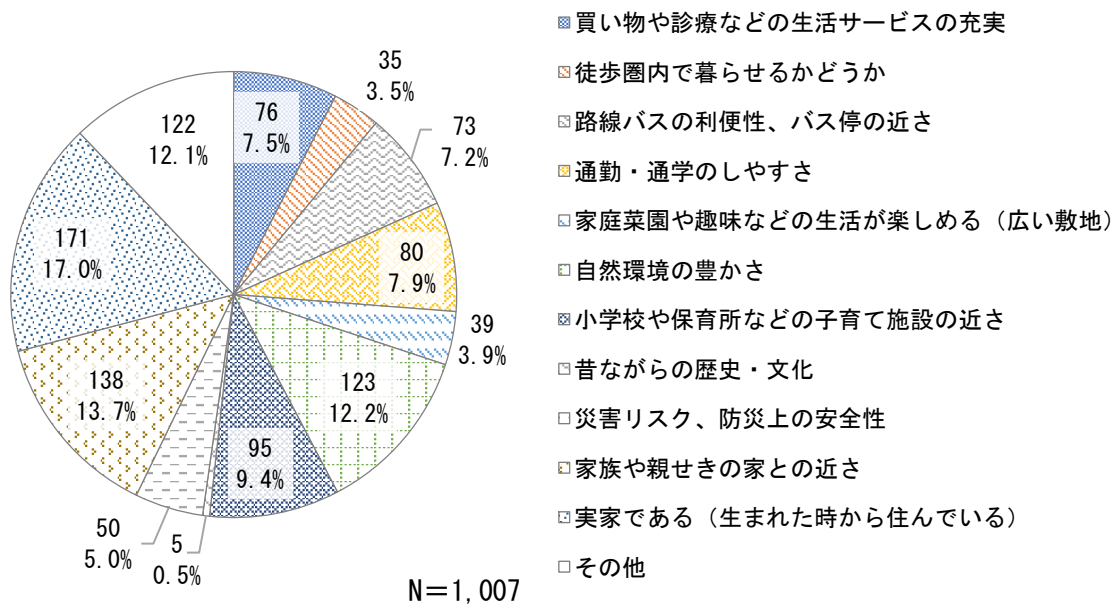
※無回答を除く（複数回答：3つまで選択）

【その他】（記入者の主な記入例）

- ・ 家賃の安さ・賃貸相場，自分の収入との関係・購入予算等，土地価格・地価
- ・ 結婚・嫁ぎ先，主人の実家，親の介護
- ・ 家屋の広さ，治安の良さ，
- ・ 広島・呉・東広島の間接地
- ・ 人にすすめられた，くじ引き，県営住宅・分譲住宅が当たった

など

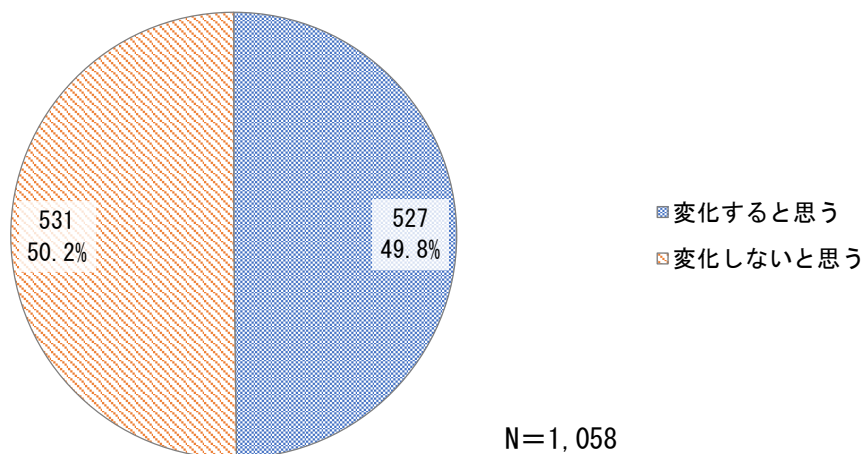
【問 11】 問 10 の回答のうち、「最も重視したこと」はどれかお聞かせください。（1～12 のうち 1 つに○）



選択肢 (最も重視したこと)	回答	割合
買い物や診療などの生活サービスの充実	76	7.5%
徒歩圏内で暮らせるかどうか	35	3.5%
路線バスの利便性、バス停の近さ	73	7.2%
通勤・通学のしやすさ	80	7.9%
家庭菜園や趣味などの生活が楽しめる（広い敷地）	39	3.9%
自然環境の豊かさ	123	12.2%
小学校や保育所などの子育て施設の近さ	95	9.4%
昔ながらの歴史・文化	5	0.5%
災害リスク、防災上の安全性	50	5.0%
家族や親せきの家との近さ	138	13.7%
実家である（生まれた時から住んでいる）	171	17.0%
その他	122	12.1%

※無回答を除く

【問 12】 20 年後を想定した場合、問 11 で選択した「最も重視したこと」が変化すると思いますか。(1 つに○)



選択肢（最も重視したことの変化）	回答	割合
変化すると思う	527	49.8%
変化しないと思う	531	50.2%

※無回答を除く

【問 13】 20 年後を想定した場合、あなたは熊野町でどのような暮らしをしたいと思いますか。(自由記述)

記入例：「徒歩圏内で必要な生活サービスがある」暮らし

自由記述記入	777
自由記述なし	409

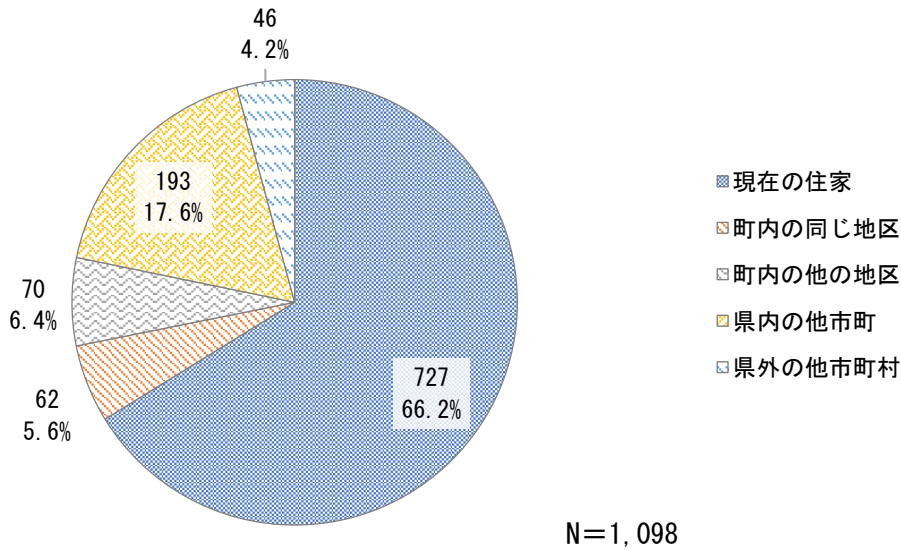
→参考資料 4：アンケート調査自由記述一件

【記入者の主な記入例】

- 徒歩圏内に必要な生活サービスがある暮らし
- 買い物や病院が近くでできる暮らし、医療・買い物に困らない暮らし
- 町内で生活に必要なものが揃う暮らし
- 車がなくても移動手段に困らない暮らし
- 医療が充実している暮らし
- 福祉サービスが充実している暮らし
- 自然環境に囲まれた暮らし、のんびりと過ごせる暮らし
- 安心した老後
- 安全・安心な暮らし
- 今のままでよい
- 20 年後は熊野町にいない
- 老人ホームにいる暮らし、生きているかわからない

【問 14】 今後（20 年～30 年後）を想定した場合、あなたが住みたい場所や住宅の種類をお聞かせください。

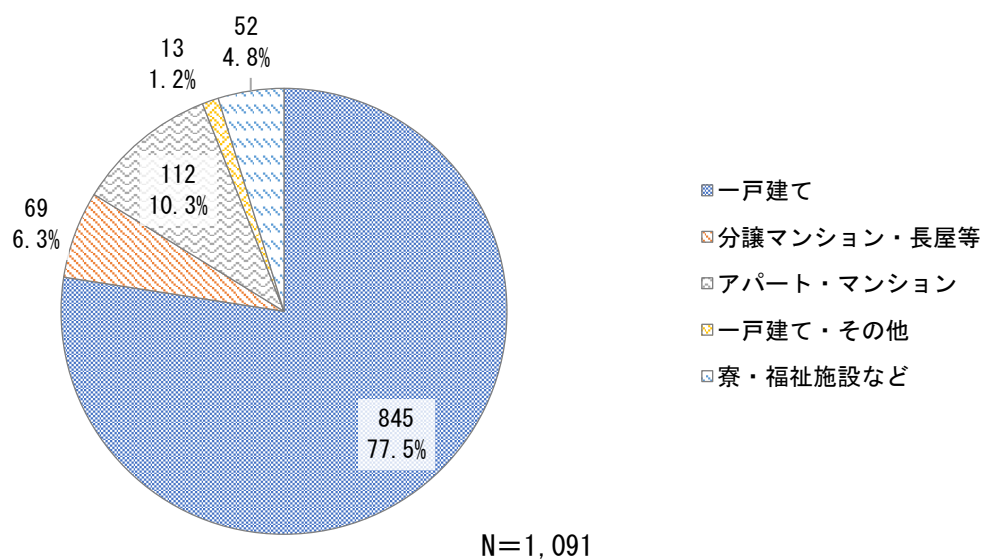
■ 住みたい場所



選択肢（住みたい場所）		回答	割合	
継続居住	現在の住家	727	66.2%	66.2%
新しい場所へ住み替える	町内の同じ地区	62	5.6%	33.8%
	町内の他の地区	70	6.4%	
	県内の他市町	193	17.6%	
	県外の他市町村	46	4.2%	

※無回答を除く

■ 住みたい住宅の種類

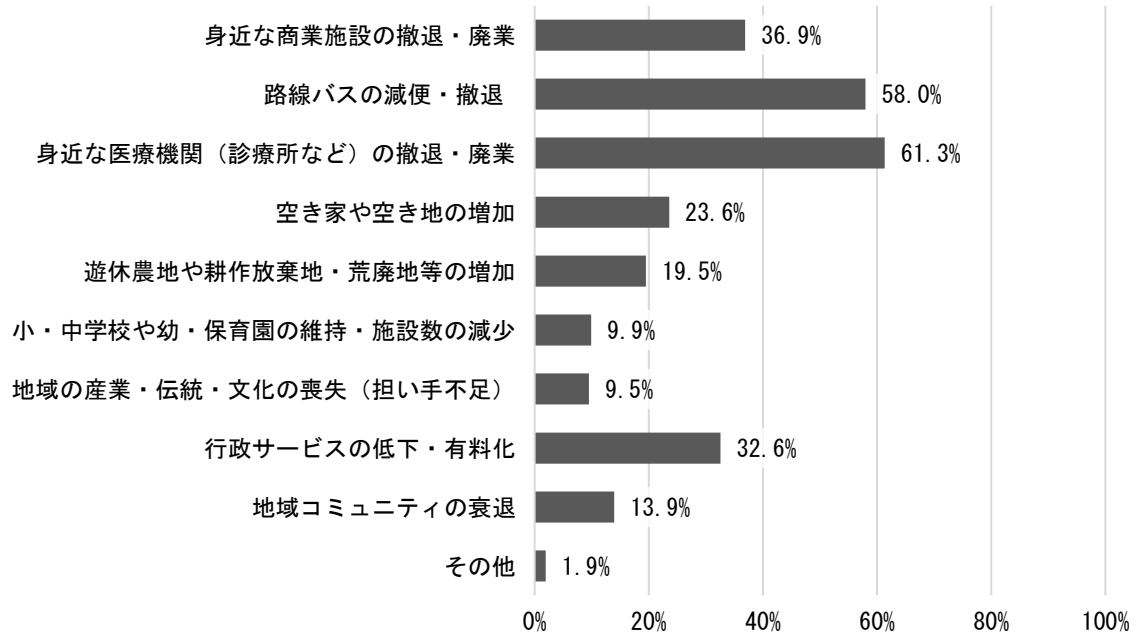


選択肢（住宅の種類）		回答	割合	
持家	一戸建て	845	77.5%	83.8%
	分譲マンション・長屋等	69	6.3%	
賃貸・借家	アパート・マンション	112	10.3%	11.5%
	一戸建て・その他	13	1.2%	
その他	寮・福祉施設など	52	4.8%	4.8%

※無回答を除く

2 これからの『まちづくり』についておたずねします。

【問 15】 今後（20年～30年後）の人口減少・高齢化等を想定した場合、熊野町での暮らしについて不安なことは何ですか。（○は3つまで）



N=1,133

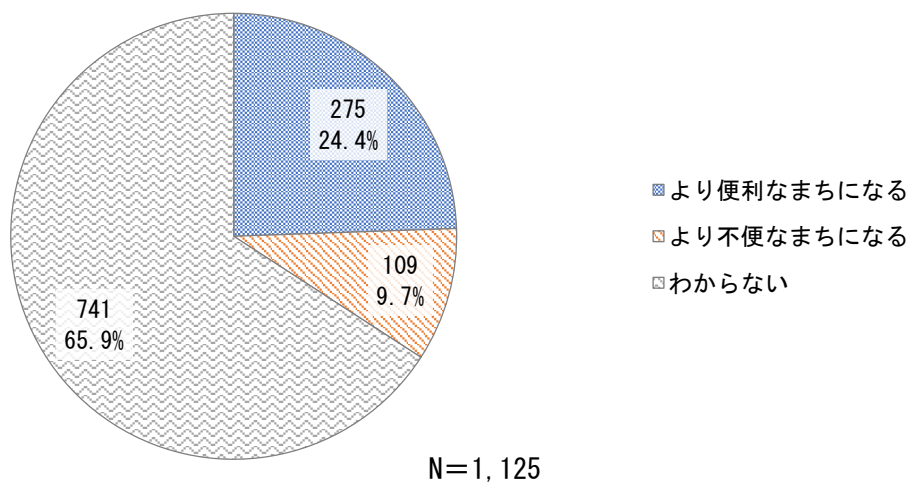
選択肢（今後の不安）	回答	割合
身近な商業施設の撤退・廃業	418	36.9%
路線バスの減便・撤退	657	58.0%
身近な医療機関（診療所など）の撤退・廃業	695	61.3%
空き家や空き地の増加	267	23.6%
遊休農地や耕作放棄地・荒廃地等の増加	221	19.5%
小・中学校や幼・保育園の維持・施設数の減少	112	9.9%
地域の産業・伝統・文化の喪失（担い手不足）	108	9.5%
行政サービスの低下・有料化	369	32.6%
地域コミュニティの衰退	158	13.9%
その他	22	1.9%

※無回答を除く（複数回答：3つまで選択）

【その他】（記入者の主な記入例）

- ・人口の極端な流出，町外への流出，（熊野町に）住もうとは思わない
- ・交通量の更なる増加
- ・生きているか不安，死んでいると思うから不安なことはない
- ・高齢者の施設入所困難，障がい者や生活の難しい人への対応

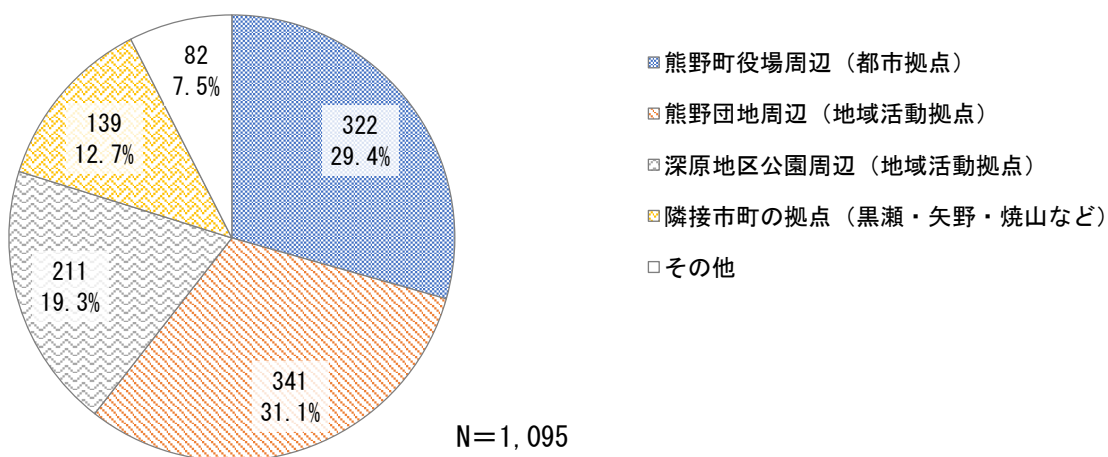
【問 16】「コンパクト・プラス・ネットワーク」の考え方でまちづくりを進めた場合、今後の熊野町はどのようなまちになるとお考えですか。（1つに○）



選択肢（コンパクト・プラス・ネットワーク）	回答	割合
より便利なまちになる	275	24.4%
より不便なまちになる	109	9.7%
わからない	741	65.9%

※無回答を除く

【問 17】熊野町都市計画マスタープランでは、将来のまちのカタチの考え方（将来都市構造）として、西部・中央・東部の3つの地域拠点（まちづくりを進める重点的なエリア）を設定しています。あなたが地域コミュニティ活動や日常生活で最もよく利用する「拠点」はどこかお聞かせください。（1つに○）



選択肢（最もよく利用する拠点）	回答	割合
熊野町役場周辺（都市拠点）	322	29.4%
熊野団地周辺（地域活動拠点）	341	31.1%
深原地区公園周辺（地域活動拠点）	211	19.3%
隣接市町の拠点（黒瀬・矢野・焼山など）	139	12.7%
その他	82	7.5%

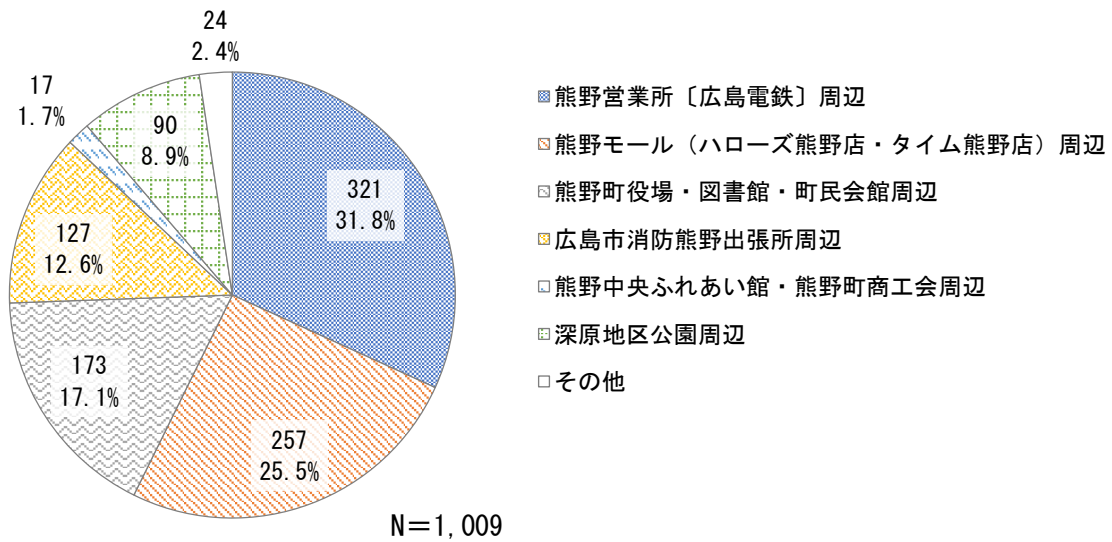
※無回答を除く

【その他】（記入者の主な記入例）

- ・町内（町民体育館周辺，自宅周辺）
- ・町外（府中町，広島市中心部）
- ・ほとんど利用しない，利用したことがない，わからない

【問 18】 今後のまちづくりにおいて、①公共交通の乗継場所②生活に必要な様々な施設の集積地となる場所の中心地は、どこが最もふさわしいと思いますか。（①と②でそれぞれ 1～7 の 1 つに○）

①公共交通の乗継場所



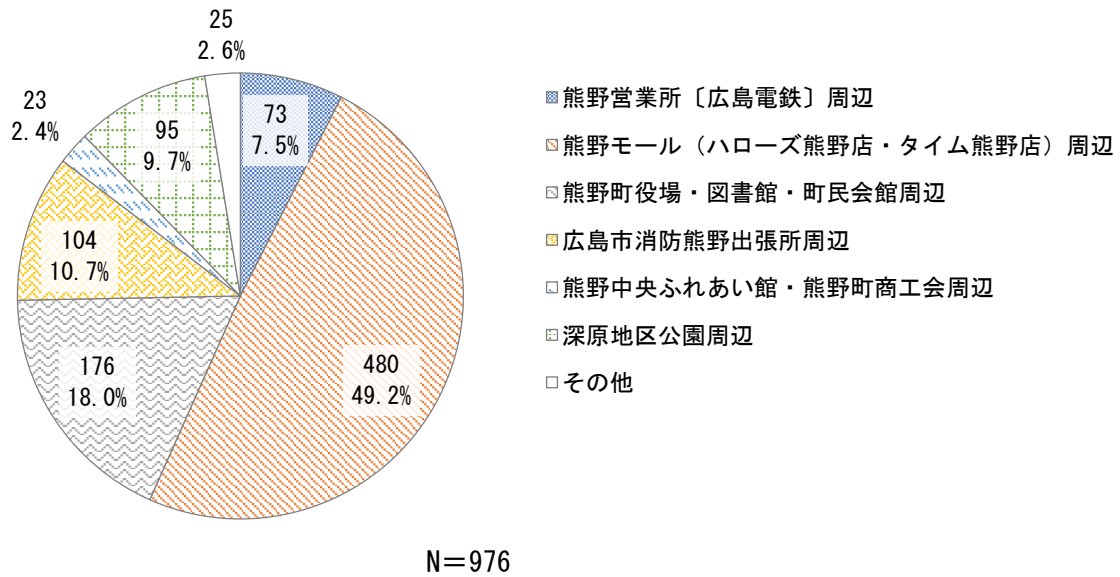
選択肢 (公共交通の乗継場所)	回答	割合
熊野営業所〔広島電鉄〕周辺	321	31.8%
熊野モール（ハローズ熊野店・タイム熊野店）周辺	257	25.5%
熊野町役場・図書館・町民会館周辺	173	17.1%
広島市消防熊野出張所周辺	127	12.6%
熊野中央ふれあい館・熊野町商工会周辺	17	1.7%
深原地区公園周辺	90	8.9%
その他	24	2.4%

※無回答を除く

【その他】（記入者の主な記入例）

- ・熊野西防災交流センター（みらい館）周辺
- ・熊野ニュータウンさくら野，熊野高校周辺，皇帝ハイツ周辺，新宮団地，熊野高校
- ・初神，城之堀，川角

②施設集積地となる場所



選択肢（施設集積地）	回答	割合
熊野営業所〔広島電鉄〕周辺	73	7.5%
熊野モール（ハローズ熊野店・タイム熊野店）周辺	480	49.2%
熊野町役場・図書館・町民会館周辺	176	18.0%
広島市消防熊野出張所周辺	104	10.7%
熊野中央ふれあい館・熊野町商工会周辺	23	2.4%
深原地区公園周辺	95	9.7%
その他	25	2.6%

※無回答を除く

【その他】（記入者の主な記入例）

- ・熊野西防災交流センター（みらい館）周辺
- ・熊野団地内，坊主山商店街
- ・初神，城之堀，川角
- ・JR矢野駅

【問 19】 今後、熊野町がさらに暮らしやすい町となるために、熊野町の中心地（都市拠点）に新たに整備してほしい施設の希望があれば、お聞かせください。

（自由記述） 記入例：温浴施設、スポーツクラブ、映画館、バスターミナル、大きな公園など

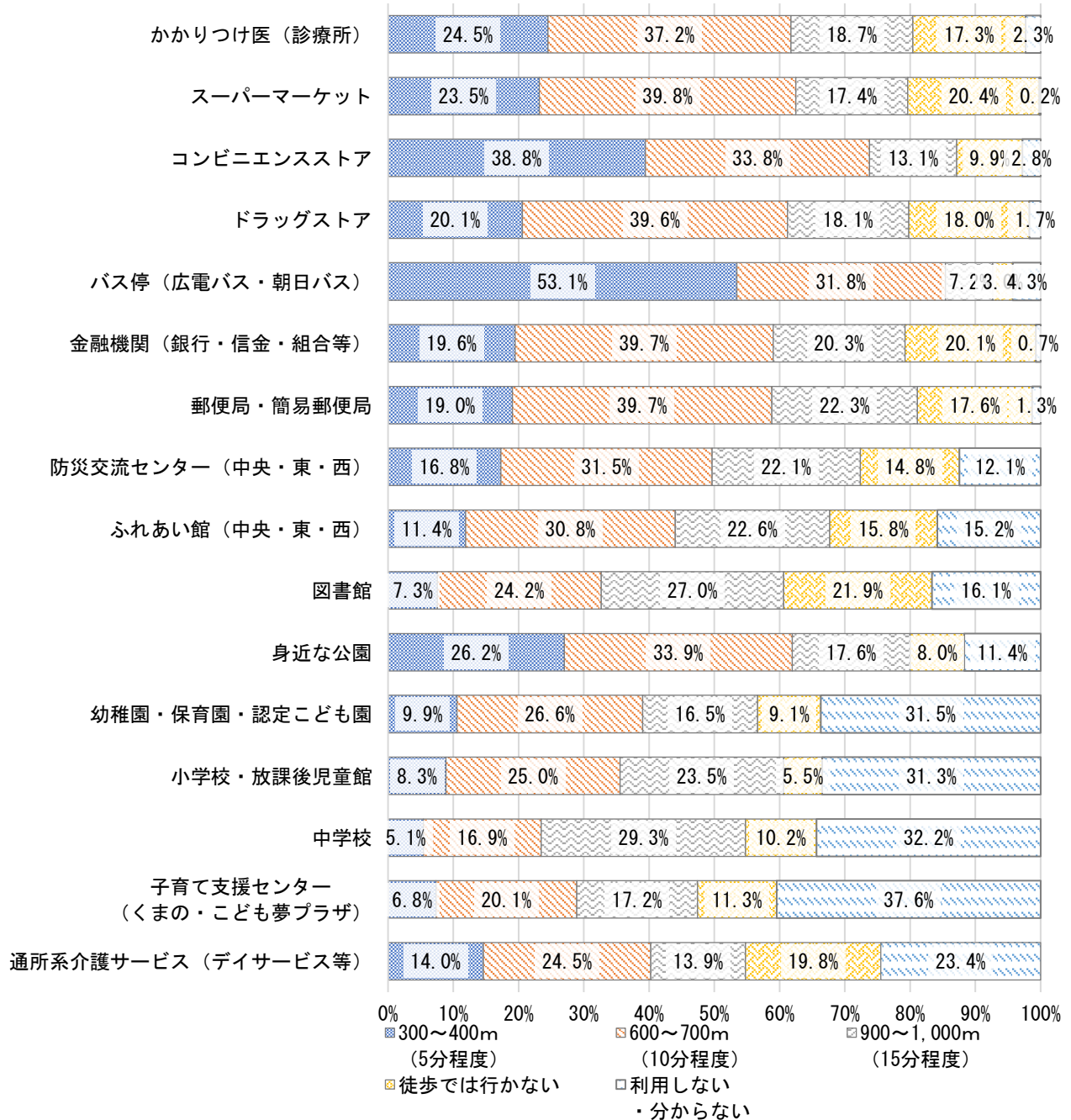
自由記述記入	627
自由記述なし	559

熊野町の中心地（都市拠点）に新たに整備してほしい施設の希望	回答
飲食店（ファミリーレストラン、ファーストフード店、コーヒーショップ・喫茶店等）	93
総合病院・診療所（小児科・耳鼻科・眼科等）	93
温浴施設、スーパー銭湯など	86
スポーツクラブ・スポーツジム	83
公園、大きな公園	74
バスターミナル等	60
映画館	45
ショッピングモール、大型商業施設	36
プール、健康増進施設	28
専門店（衣料品店、大型書店・レンタルショップ）	15

【その他】（記入者の主な記入例）

- ・高齢者福祉施設、交流施設、道の駅、鉄道駅・モノレール、ATM
カラオケ・ボーリング場等の娯楽施設

【問 20】「歩いて暮らせるまちづくり」を考えた場合、あなたが歩いて行っても良いと思える距離（時間）を、下記の施設それぞれについてお聞かせください。（施設ごとに1つに○）



N=1,096

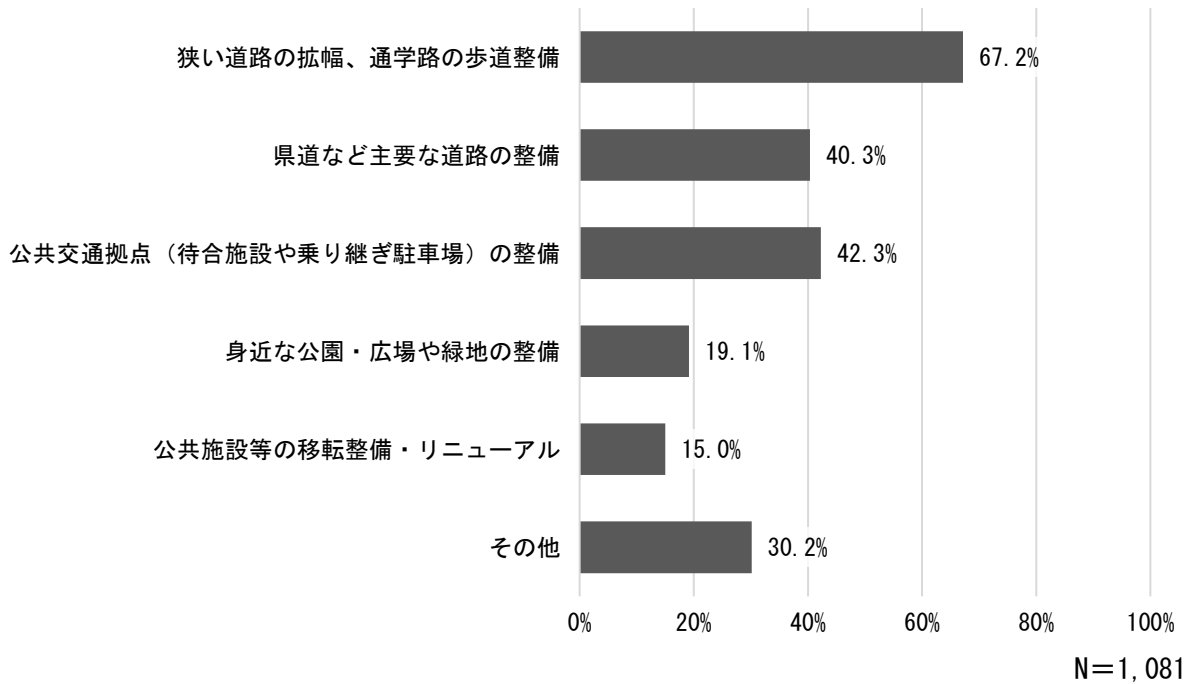
【問 20】

施設	選択肢（歩いて行っても良いと思える距離）										N 有効 回答
	300～400m (5分程度)		600～700m (10分程度)		900～1,000m (15分程度)		徒歩では 行かない		利用しない ・分からない		
かかりつけ医（診療所）	265	24.5%	403	37.2%	202	18.7%	187	17.3%	25	2.3%	1,082
スーパーマーケット	254	23.5%	431	39.8%	188	17.4%	221	20.4%	2	0.2%	1,096
コンビニエンスストア	420	38.8%	366	33.8%	142	13.1%	107	9.9%	30	2.8%	1,065
ドラッグストア	217	20.1%	428	39.6%	196	18.1%	195	18.0%	18	1.7%	1,054
バス停（広電バス・朝日バス）	575	53.1%	344	31.8%	78	7.2%	33	3.0%	46	4.3%	1,076
金融機関（銀行・信金・組合等）	212	19.6%	430	39.7%	220	20.3%	218	20.1%	8	0.7%	1,088
郵便局・簡易郵便局	206	19.0%	430	39.7%	241	22.3%	190	17.6%	14	1.3%	1,081
防災交流センター（中央・東・西）	182	16.8%	341	31.5%	239	22.1%	160	14.8%	131	12.1%	1,053
ふれあい館（中央・東・西）	123	11.4%	333	30.8%	245	22.6%	171	15.8%	164	15.2%	1,036
図書館	79	7.3%	262	24.2%	292	27.0%	237	21.9%	174	16.1%	1,044
身近な公園	284	26.2%	367	33.9%	190	17.6%	87	8.0%	123	11.4%	1,051
幼稚園・保育園・認定こども園	107	9.9%	288	26.6%	178	16.5%	98	9.1%	341	31.5%	1,012
小学校・放課後児童館	90	8.3%	270	25.0%	254	23.5%	60	5.5%	339	31.3%	1,013
中学校	55	5.1%	183	16.9%	317	29.3%	110	10.2%	348	32.2%	1,013
子育て支援センター （くまの・こども夢プラザ）	74	6.8%	217	20.1%	186	17.2%	122	11.3%	407	37.6%	1,006
通所系介護サービス （デイサービス等）	151	14.0%	265	24.5%	150	13.9%	214	19.8%	253	23.4%	1,033

※無回答を除く

【問 21】 あなたがお住まいの地区における都市基盤※ や生活環境を考えた場合、今後どのような施設の整備に力を入れていくべきだと思いますか。（○は3つまで）

※都市基盤とは、道路、河川、上下水道、学校、病院、公園などの公共施設やエネルギー供給施設、通信施設などの生活・産業基盤のことを言います。



選択肢（基盤整備等-力を入れていくべき取組）	回答	割合
狭い道路の拡幅、通学路の歩道整備	726	67.2%
県道など主要な道路の整備	436	40.3%
公共交通拠点（待合施設や乗り継ぎ駐車場）の整備	457	42.3%
身近な公園・広場や緑地の整備	207	19.1%
公共施設等の移転整備・リニューアル	162	15.0%
その他	326	30.2%

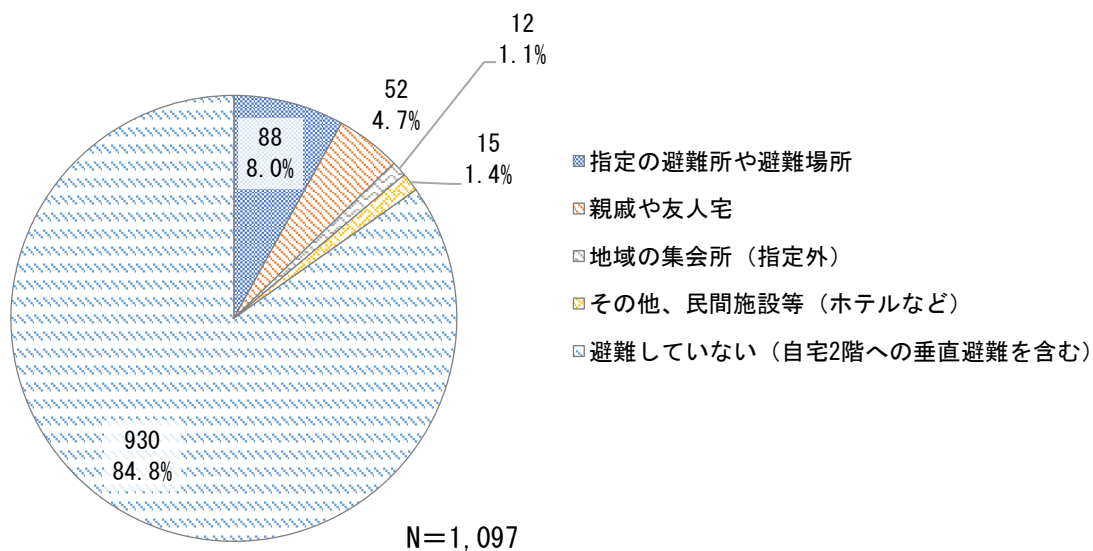
※無回答を除く（複数回答：3つまで選択）

【その他】（記入者の主な記入例）

- ・ 病院（103）
- ・ 給食センター
- ・ 大きな公園
- ・ 河川の整備
- ・ 遊歩道・自転車道
- ・ 水道
- ・ 植物園， レンタル菜園

3 これからの『災害に強いまちづくり』についてそれぞれお聞かせください。

【問 22】平成 30 年 7 月豪雨災害のとき、あなたは自宅以外の場所に避難をしましたか。（1 つに○）

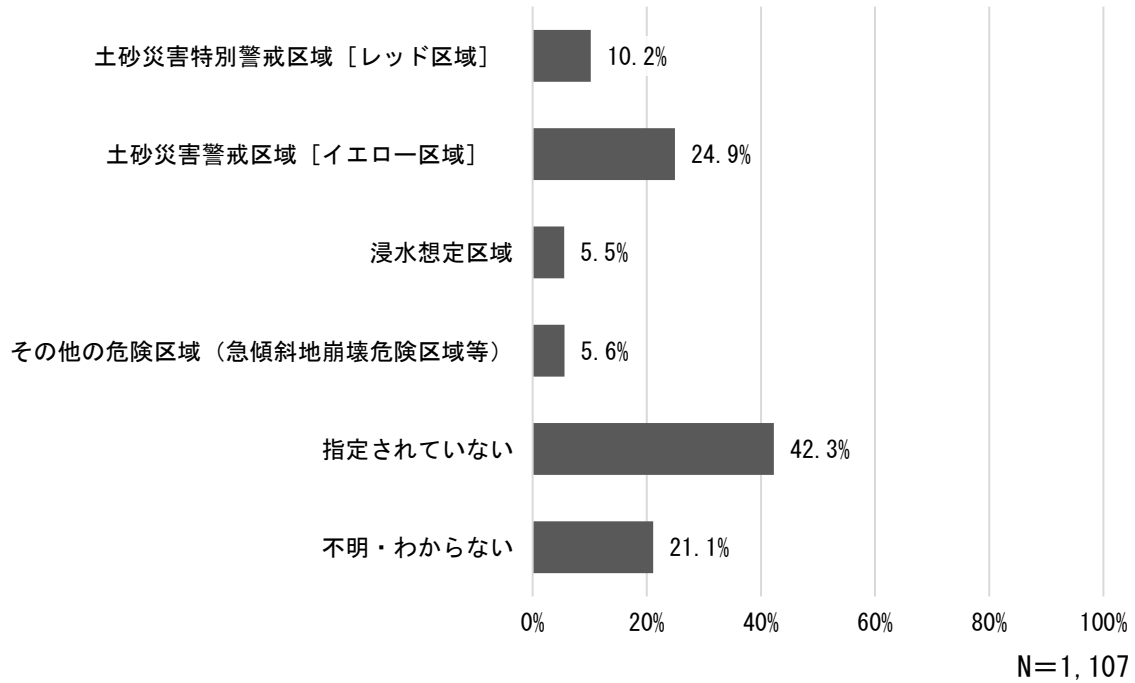


選択肢（避難）	選択肢（避難先）	回答	割合	
避難した	指定の避難所や避難場所	88	8.0%	15.2%
	親戚や友人宅	52	4.7%	
	地域の集会所（指定外）	12	1.1%	
	その他、民間施設等（ホテルなど）	15	1.4%	
避難していない（自宅2階への垂直避難を含む）		930	84.8%	84.8%

※無回答を除く

【問 23】 あなたがお住まいの地域における災害の危険性（ハザードリスクの有無）をお聞かせください。

（あてはまるものすべてに○、複数回答可）

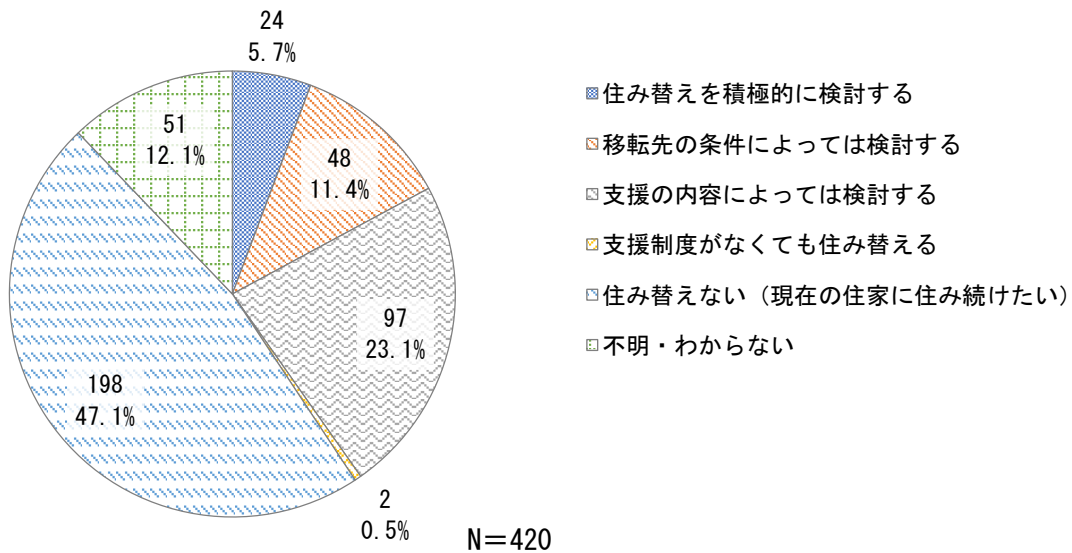


選択肢（ハザードリスクの有無）	回答	割合
土砂災害特別警戒区域 [レッド区域]	113	10.2%
土砂災害警戒区域 [イエロー区域]	276	24.9%
浸水想定区域	61	5.5%
その他の危険区域 (急傾斜地崩壊危険区域等)	62	5.6%
指定されていない	468	42.3%
不明・わからない	234	21.1%

※無回答を除く（複数回答：該当全て選択）

【問 24】 上記の問 23 で「1 から 4 を回答」された方にお伺いします。

災害リスクが高い場所から安全な場所（町内）への自主的な住み替えを促す支援制度（移転に係る費用の補助など）があった場合、住み替えを検討しますか。（1 つに○）

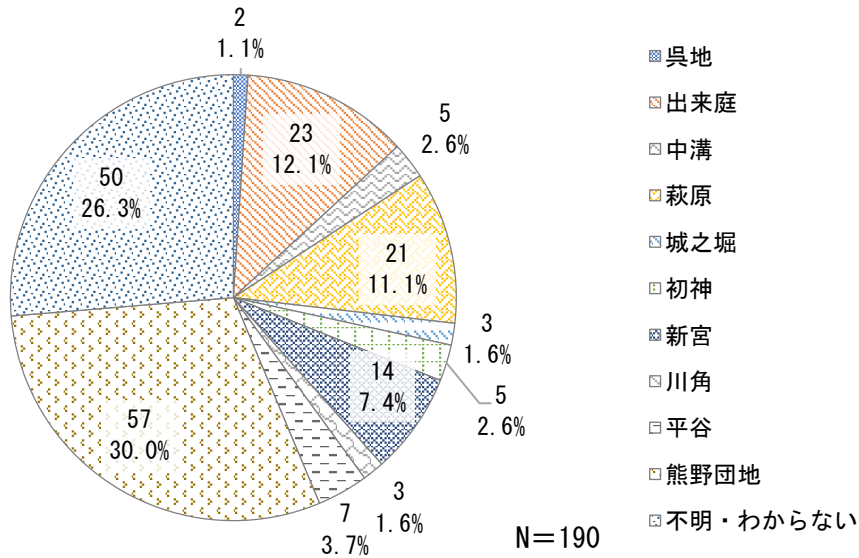


選択肢（住み替え検討について）	回答	割合
住み替えを積極的に検討する	24	5.7%
移転先の条件によっては検討する	48	11.4%
支援の内容によっては検討する	97	23.1%
支援制度がなくても住み替える	2	0.5%
住み替えない（現在の住家に住み続けたい）	198	47.1%
不明・わからない	51	12.1%

※無回答を除く

【問 25】 上記の問 24 で「1 から 4 を回答」された方にお伺いします。

あなたが町内で住み替える場合、住み替えたい地区はどこですか。(1 つに○)

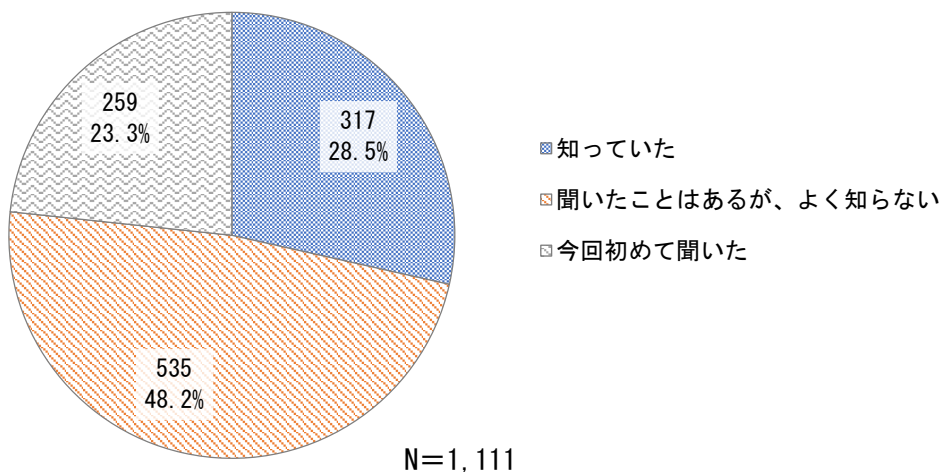


選択肢 (住み替えたい地区)	回答	割合
呉地	2	1.1%
出来庭	23	12.1%
中溝	5	2.6%
萩原	21	11.1%
城之堀	3	1.6%
初神	5	2.6%
新宮	14	7.4%
川角	3	1.6%
平谷	7	3.7%
熊野団地	57	30.0%
不明・わからない	50	26.3%

※熊野団地は、貴船、石神、神田、柿迫、東山

※無回答を除く

【問 26】 町では、平成 30 年 7 月豪雨災害の教訓を基に「熊野町防災・減災まちづくり条例」を制定し、災害に強いまちづくりを進めています。こうした町の取組をご存知でしたか。（1つに○）

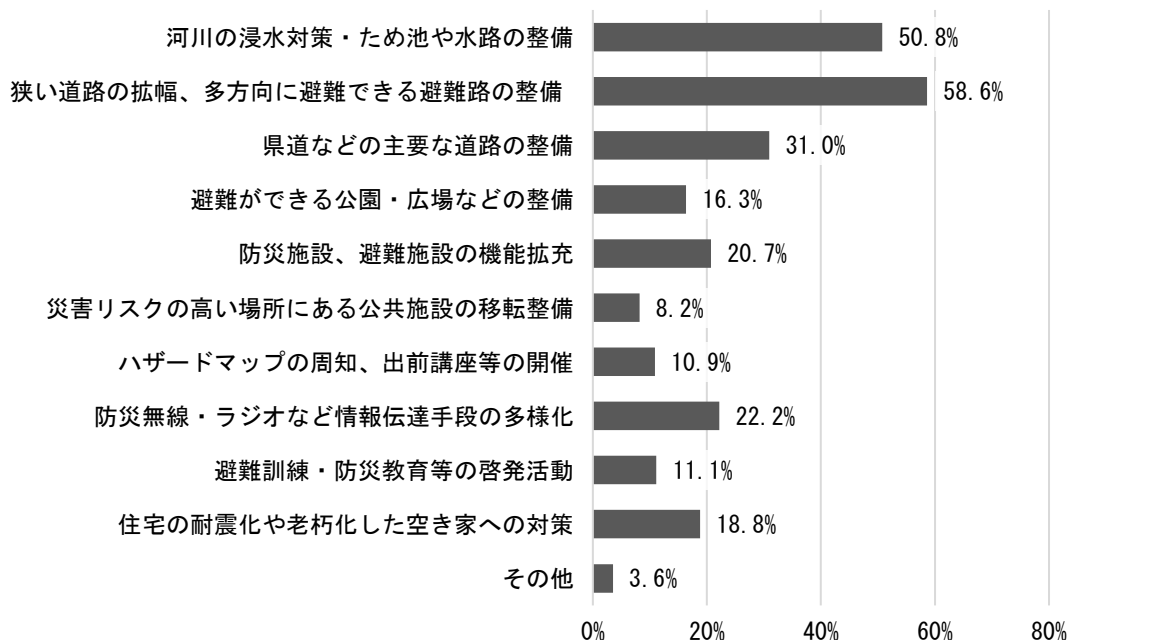


選択肢（条例の認知）	回答	割合
知っていた	317	28.5%
聞いたことはあるが、よく知らない	535	48.1%
今回初めて聞いた	259	23.3%

※無回答を除く

【問 27】災害に強いまちづくりを考えた場合、今後どのような取組に力を入れていくべきだと思いますか。

(○は3つまで)



N=1,095

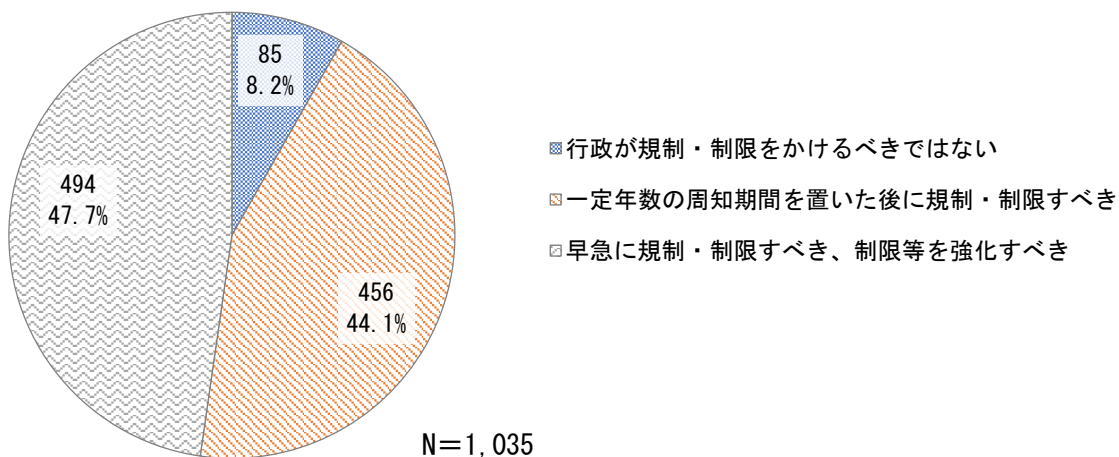
選択肢（防災-力を入れていくべき取組）	回答	割合
河川の浸水対策・ため池や水路の整備	556	50.8%
狭い道路の拡幅、多方向に避難できる避難路の整備	642	58.6%
県道などの主要な道路の整備	339	31.0%
避難ができる公園・広場などの整備	179	16.3%
防災施設、避難施設の機能拡充	227	20.7%
災害リスクの高い場所にある公共施設の移転整備	90	8.2%
ハザードマップの周知、出前講座等の開催	119	10.9%
防災無線・ラジオなど情報伝達手段の多様化	243	22.2%
避難訓練・防災教育等の啓発活動	122	11.1%
住宅の耐震化や老朽化した空き家への対策	206	18.8%
その他	39	3.6%

※無回答を除く（複数回答：3つまで選択）

【その他】（記入者の主な記入例）

- ・道路の浸水対策，道路の側溝対策（転落防止），雨水管の点検
- ・町内放送（スピーカー聞こえない）
- ・土地利用規制の強化，・山森林の手入れ・がけ崩れの修理（復旧対策）
- ・高齢者等の対応

【問 28】気候変動に伴い、近年は豪雨災害などが増えていますが、土砂災害警戒区域や浸水想定区域など災害リスクがある場所で、新たな住宅の建設を規制・制限することについてどう思いますか。（1つに○）



選択肢（住宅の規制・制限について）	回答	割合
行政が規制・制限をかけるべきではない	85	8.2%
一定年数の周知期間を置いた後に規制・制限すべき	456	44.1%
早急に規制・制限すべき、制限等を強化すべき	494	47.7%

※無回答を除く

【問 29】その他、これからのまちづくりについて、ご意見・ご提案などがあればお聞かせください。

（自由記述）

自由記述記入	495	41.7%
自由記述なし	691	58.3%

アンケート調査自由記述一件